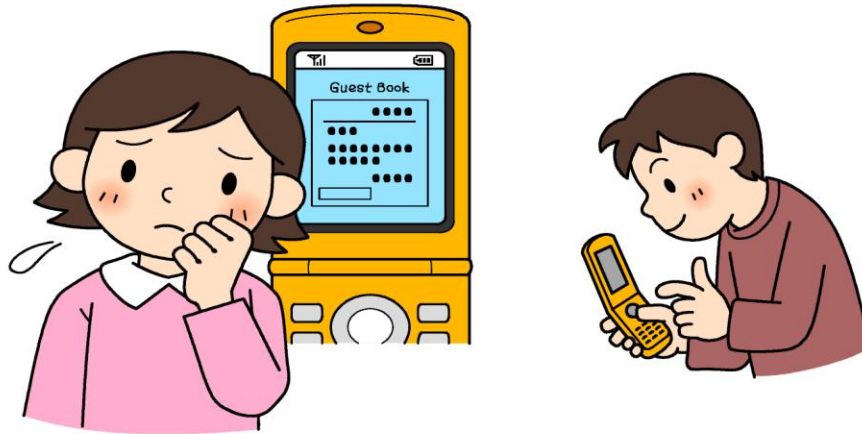


「情報モラル教育」指導例集



「情報安全教育検討委員会」

◇ 奥出雲町立八川小学校	校長	若槻 徹
◇ 出雲市立南中学校	校長	足立 賢治
◇ 松江市立法吉小学校	主幹教諭	片寄 泰史
◇ 安来高等学校	教諭	渡部 裕通
◇ 高校教育課 高等学校指導グループ	指導主事	宇津 誠
◇ 義務教育課 学力向上グループ	指導主事	神谷 祥久
◇ 島根県教育センター 研究情報スタッフ	企画幹	日向 伸之
◇ 島根県教育センター 研究情報スタッフ	指導主事	多々納 優
◇ 島根県教育センター 研究情報スタッフ	指導主事	瀬崎 邦博
◇ 島根県教育センター 研究情報スタッフ	指導主事	島崎 健志
◇ アドバイザー：有限会社 Will さんいん	代表取締役	長谷川陽子
◇ アドバイザー：有限会社 Will さんいん	取締役	金築 理恵
◇ 事務局：義務教育課 生徒指導推進室	指導主事	山崎 創

平成23年7月 作成

校種	小	学年	5・6年	教科等	総合的な学習の時間等	備考	
単元名	その情報 本当に正しいの？ (情報モラル指導実践キックオフガイド P.19 を参考)						

1. 事例（または設定の理由）

子どもたちは、コミュニティサイトに書かれていることを事実だと思っている。ネット上の情報にはウソもあることを知り、正しい情報を見極めることの大切さに気づかせることが、調べ学習等でインターネットを使うことの多くなる小学校高学年の時期には必要である。

ここでは、教師が一方的に各事例について解説するではなく、疑似ページを体験して、児童自身に考えさせることで、対処方法を考え、情報を見極めることの大切さに気づかせる。

2. 本時のねらい


インターネットは、最新情報が手に入ったり、情報の発信・受信が双方向にできたりするよさがあるが、ウソの情報や人をだまそうとするものもあることがわかり、情報を見極めることの大切さに気づく。

3. 使用教材（準備）

大津小学校作成の「不正な Web ページ」を活用

<http://www.otsu.ed.jp/seta-e/moral/rinri/index.html>

4. 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1. インターネットを利用して、使い方や困ったことについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新情報が載っている。 ・検索すると情報がたくさんあってどれを選べばよいか困る。 ・中にはあやしいページもある。 <p>2. デマや嘘、個人情報入手のための模擬サイトを使って、危険なところを班で話し合う。</p>  <p>3. 班毎に発表し、対処方法について全員で考える。</p> <p>4. 学習のまとめをする。</p>	<p>○日常の経験の中で、便利なところと困っていることについて発表して共有し、利便性にふれた上で、危険性について考えるようにする。</p> <p>○最初に教師が解説して問題点を指摘するのではなく、児童が自分たちで問題点を見つけ、正しい対処法を自分たちで話し合うようにする。</p> <p>○6つのページがあるので、全体で絞ったり、班別に分担することが必要である。</p> <p>○話し合いの中で教師は適切に児童の考えを補強し、解説を加えていくようにする。</p> <p>○本時の学習を通して、今後に生かせることについてプリント等にかき添えることで、意識化を図る。</p>

校種	小学校	学年	中高学年	教科等	学級活動	備考	
単元名	住所や電話番号、名前などの個人情報を守ろう。						

4. 事例（または設定の理由）

児童は、意図せずにインターネットや電話などで個人情報を流出させてしまう危険性がある。仕掛けられた巧みな誘導によって、いとも簡単に住所や氏名、電話番号などの情報を流出させてしまう可能性がある。なぜ個人情報を流出させるといけないのか、どのようにして個人情報は流出してしまうのか、どうすればその危険から回避できるのかを学び、個人情報を守る意識を醸成する。

5. 本時のねらい

個人情報の保護についてその重要性を知り、情報を守るための方法について理解する。

6. 使用教材（準備）

「住所や電話番号をおしえるのは慎重に」 ネット社会の歩き方（CEC）

URL : http://www.cec.or.jp/net-walk/flash/cec_11/index_s.html

4. 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 不審な電話がかかってきた経験があるか確認する。 「知らない人からの電話で、連絡網の電話番号や、友達の名前や電話番号を聞きかされたことはありませんか」 予想される児童の反応 ○ない ○ある。 ・教えた。 ・困ったので、電話を保護者にかわってもらった。</p> <p>2 不審な電話がかかってきた場合のシミュレーションを行い、誘導されてはいけないことを確認する。 ○宅配便の業者を装って ○友達の保護者を装って ○保護者の知り合いを装って どのように対処するとよいでしょう。 予想される児童の反応 ・知らない人からの電話にはこたえない。 ・電話で聞き取ろうとすること自体が不自然であることを知っておく。 ・困ったら保護者に電話をかわる。 どのようにして個人情報は流出してしまうのか分かってきたけど、次の場合はどう考えますか。また、何で個人情報は流出するといけないのか考えよう。</p> <p>3 「住所や電話番号をおしえるのは慎重に」（ネット社会の歩き方）を視聴してインターネット上でも、誘導され個人情報が流出する危険性があることを知る。 予想される児童の反応 ・インターネットでも危険があるんだ。 ・簡単に住所や名前を入力することはやめよう。 ・保護者とよく相談する。</p>	<p>○事前に児童の電話による聞き出し経験の有無を質問紙等で把握しておく（質問紙は無記名にしておく）。児童から意見が出にくいようなら、質問紙の結果から教員が紹介する。</p> <p>○実際に、電話機を持ち込んで、教員と児童とで電話のやり取りを再現する。</p> <p>○場面6視聴後、アニメーションを止めて、児童の考えをワークシートに書かせる。 ○使用教材では、被害は勧誘の増加だが、それ以外にも悪用される可能性がある（個人の特定など）ことも付け加えておく。 ○対処方法が分からない場合は保護者に相談することが大切であることを確認する。</p>

校種	小学校	学年	高学年	教科等	学級活動	備考	
単元名	インターネットは安全なサイトばかりではない。						

7. 事例（または設定の理由）

児童は、意図せずにインターネットや電話などで個人情報を流出させてしまう危険性がある。仕掛けられた巧みな誘導によって、いとも簡単に住所や氏名、電話番号などの情報を流出させてしまう可能性がある。なぜ個人情報を流出させるといけないのか、どのようにして個人情報は流出してしまうのか、どうすればその危険から回避できるのかを学び、個人情報を守る意識を醸成する。

8. 本時のねらい

個人情報の保護についてその重要性を知り、情報を守るための方法について理解する。

9. 使用教材（準備）

「住所や電話番号をおしえるのは慎重に」 ネット社会の歩き方（CEC）

URL：http://www.cec.or.jp/net-walk/flash/cec_11/index_s.html

「こんなWebサイトに気をつけて」 ネット社会の歩き方（CEC）

URL：http://www.cec.or.jp/net-walk/flash/cec_02/index_c.html

4. 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 「住所や電話番号をおしえるのは慎重に」(ネット社会の歩き方)を視聴してインターネット上で、誘導され個人情報が流出する危険性があることを知る。</p> <p>・どのようなことに気をつければよいと思いますか。</p> <p>予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・簡単に個人情報を入力してはいけない。 ・カードでつられてしまって、冷静な判断ができなくなってしまった。 ・怪しい人に気をつけるのと同じで、インターネットでも危険があるから、だまされないようにしないといけない。 ・困ったときは、保護者に相談する。 <p>2. 「こんなWebサイトに気をつけて」(ネット社会の歩き方)を視聴して、個人情報流出は勧誘だけでなく、知らぬ間にお金を払わされる危険性があることを知る。</p> <p>・とても慎重にやっていたサヤカさんでしたが、どうしてお金を払うことになってしまったのでしょうか。</p> <p>予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このサイトは大丈夫だと信じて、クレジットカード番号を入力してしまったから。 ・チケットはずれなしにつられてしまったから。 ・別のサイトにリンクして誘導されたことに気づけなかったから。 <p>・みんなだったら、これからどんなことに気をつけていきますか。</p> <p>予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットでも危険があるので、簡単に住所や名前を入力することはやめよう。 ・入会規約を保護者と読んで調べよう。 ・リンクに気をつけよう。 ・分からなくなったら、保護者や信頼できる大人によく相談する。 	<p>○場面6視聴後、アニメーションを止めて、児童の考えを発言させる。</p> <p>○場面3や場面4で、教員が主人公サヤカは慎重に個人情報を入力していること（個人情報の入力は最小限度にしている、入会規約をきちんと読んでいる）を押さえる。</p> <p>○児童から出なければ、「安心なはずのサイトだったのにどうして？」と切り返す。</p> <p>○安易な個人情報流出は、勧誘の増加、金銭以外にも悪用される可能性がある（個人の特定によるストーカー行為など）ことも付け加えておく。</p> <p>○対処方法が分からない場合は保護者や先生に相談することが大切であることを確認する。</p>

校種	小学校	学年	高学年	教科等	学級活動、道徳	備考	
単元名	インターネット上での悪ふざけは取り返しのつかないことにつながる。						

10. 事例（または設定の理由）

児童は、日常生活において、ちょっとしたいたずら心で友達をからかうことがある。日常生活においても相手を傷つけてしまう行動は許されるものではないが、インターネット上でこういう行為を行うことは、日常生活と比べて、瞬時により大きい被害をもたらしてしまい、深く相手を傷つけてしまうことや、一度インターネット上に掲載したものは取り戻せないことを理解し、正しく活用していこうとする態度を養う。

11. 本時のねらい

- ・人を傷つける内容の文章や画像等をインターネット上に流すことは、人権侵害になることを理解し、正しく活用しようとする態度を養う。
- ・インターネット上に流した文章や画像等はコピーされて削除できない特性を理解し、慎重に取り扱う態度を養う。

12. 使用教材（準備）

「ネットいじめは人権侵害」 ネット社会の歩き方（CEC）

URL : http://www.cec.or.jp/net-walk/flash/cec_10/index_s.html

4. 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 学校や公園などに悪さ書きがしてあるのを見たときにどのように思うか考える。 予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いけないこと。 ・なんでこんなことするのか。 ・いやな気持ちになる。 <p>2. 「ネットいじめは人権侵害」(ネット社会の歩き方) を視聴する。</p> <p>・ツバサ君とタクミ君は、どんな気持ちで写真を送ったと思いますか。</p> <p>予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面白かったから ・つい悪ふざけで ・普段から、ケンタ君が生意気だから <p>・自分の写真がインターネット上に掲載されたことを知ったケンタ君は、どのような気持ちだったでしょう。</p> <p>予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひどい。 ・だれがやったんだ ・もうみんなと会いたくない。 <p>・自分達の写真が原因でケンタ君が休んでいることを知った二人は、どのように思っているでしょう。</p> <p>予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まさか、こんなことになるとは…… ・ちょっとした悪ふざけだったのに。 ・そんなに写真が広まるなんて思わなかった。 <p>3. 本時の振り返りをする。</p>	<p>○学校や公園に書かれた落書きの画像を提示する。</p> <p>○場面3を視聴後、画面を止めて児童に考えさせる。</p> <p>○場面6を視聴後、画面を止めて児童に考えさせる。</p> <p>○場面10を視聴後、画面を止めて児童に考えさせる。</p> <p>○日常生活での落書き等はそれを消せば無くなるが、インターネット上では一度掲載するとたとえ掲載した人物が自分のデータを消してもコピーされて二度と消せないことや瞬時に広がってしまうインターネット上の特性を押さえる。</p> <p>○本時の感想をワークシートに書かせ、発表させる。</p> <p>○こういうことがあった場合は、保護者や学校に相談することを押さえておく。</p>

校種	中学校	学年	全学年	教科等	学級活動	備考	
単元名	相手のことをよく確かめて						

13. 事例（または設定の理由）

なりすまし…プロフ¹、SNS²などでは、面識のない人物と簡単に知り合える。また、インターネットでは、匿名性を利用した「なりすまし」が簡単にできる。そのため、成人男性が、同年代の児童生徒のふりをして犯罪を行う事件が頻発している。

14. 本時のねらい

ネットワークの匿名性となりすましの危険を知る

15. 使用教材（準備）

DVD「ケータイ・ネット社会の落とし穴 VOL.1 ネット社会の道しるべ」（NHK エンタープライズ）³

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 インターネットの特性を確認する。 ・利便性の想起 ・問題点の確認	○特性をつかませるために、利便性を想起させることから始める。 ○ネットの社会では、相手の顔が見えないこと、匿名性が高いことを抑える。
2 「掲示板となりすまし」を視聴する。	○本編のみを視聴する。 ○視聴後に、本編の内容を再度確認する。
3 事例を基に、どのような問題点があったか考えを書き、話し合う。 [主人公の行動面] ・ネット上で知り合った人と会ってしまった。 ・親に黙って会いに行った。 [インターネットにおける問題] ・なりすましている。 ・悪口を書いている。	○自分の考えをはじめに書かせ、その後に[主人公の行動]と[インターネットにおける問題]に分類する。 ○ネット社会では、誰もが他人になりすますることができることが簡単にできることを抑える。 ○掲示板における誹謗・中傷、名誉毀損についても触れ、ネット社会には、悪意ある第三者もいることをおさえる。
4 事例をもとに対応策を考え、発表する。 ・ネット上で知り合った人とむやみに会わない。	○ネット社会は匿名性が高いため、むやみに会うことは自分が被害を被る可能性が高くなることを補足する。 ○ネット上で出会った人物と保護者の同伴なしに会わないよう指導する。
5 ビデオの解説を視聴し、本時のまとめをする。 ・ネット社会には悪意のある人もいる。 ・ネットの向こうの「誰か」を安易に信頼し、個人情報を直接伝えてしまうこと（ダイレクトコンタクト）の危険性を考える。	○自分から会いに行かなくても、ブログ・プロフに個人の特定や生活圏の特定につながる情報を書くことで、ストーカー被害に遭う可能性があることを説明し、それらの情報を書き込まないよう注意する。 ○「出会い系サイト規制法」で、子どもでも、金銭目的で交際相手になることを誘うなどの書き込みをすると、それがいたずらであっても罰せられ、逮捕されることがあることを確認する。

¹ プロフ：ケータイサイトに自己紹介のページを作成できるサービス。プロフィールの略

² SNS：ネット上で気軽に交流できるコミュニティサイト。Social Networking Service の略。

³ 「ケータイ・ネット社会の落とし穴」（NHK エンタープライズ）のDVD4種類は、島根県教育センター研究情報スタッフで貸し出しを行っています。

校種	中学校	学年	3年	教科等	道徳	備考	
単元名	真の友情						

16. 事例（または設定の理由）

- ・電子掲示板は、人の悪口を書き込まない、相手の気持ちを考えた上で利用するなどの基本的なルールやマナーを守らなければならないことを理解させたい。

17. 本時のねらい

- ・友情の尊さを理解して、心から信頼できる友達を持ち、互いに励まし合い、高め合おうとする心情を育てる。

18. 使用教材（準備）

「はずれたシュート」（道徳用読み物「想いとどけて」より）

4. 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
①友達の良さについて考える。 「今まで、友達がいてよかったと思った経験はありますか？」	○資料をDVDで聴く。
②武の光司に対する気持ちを考える。 「武は光司のことをどう思っているのでしょうか？」	○気になるが、気軽につきあえなかった相手に壁を作っている武の気持ちを考えさせる。
③電子掲示板に書き込まれた武の気持ちを考える。 「電子掲示板の書き込みを見たとき、武はどんな気持ちだったのでしょうか？」	○電子掲示板で、誹謗中傷された武の気持ちを押さえる。 ○電子掲示板は、一度書き込むと誰でも見ることが可能で、削除しても永久に消し去ることができないことを理解する。
④光司に声をかけられたときの武の気持ちを考える。 「光司に声をかけられたとき、武はどんな気持ちだったのでしょうか？」	○掲示板に書き込まれると直接言われるより傷つくことを押さえる。
⑤守から光司のことを聞いたときの武の気持ちをワークシートに記入し、話し合う。 「守から光司のことを聞いたとき、武はどんな気持ちだったのでしょうか？」	○前半の武の気持ちと対比して考えさせる。
⑥友人に関する教師の体験談を話す。	○生涯の友となっているのはどんな人かについて話す。 ○真の友情は、電子掲示板に書き込むのではなく、直接話すことが必要であることを確認する。

校種	高校	学年	1	教科等	ホームルーム	備考	
単元名	コミュニティサイトを通して考える情報安全						

19. 事例（設定の理由）

インターネットにおける情報発信と責任について

クラスのほとんどの生徒がケータイを利用している状況が想定され、その便利さを実感していると考えられる。また、チェーンメールの受信やコミュニティサイトの利用を経験した生徒も多いと思われる。

20. 本時のねらい

情報発信において、相手のことやその影響について考えて行う姿勢を培う。

情報発信の内容によっては、加害者となり得ることを認識する。

情報発信は責任を伴う行為であることを理解する。

21. 使用教材（準備）

ネット社会の歩き方「チェーンメールはカット」

URL：http://www.cec.or.jp/net-walk/flash/cec_25/index_o.html

(FLASH コンテンツを表示するための機器が必要)

4. 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
教材「チェーンメールはカット」の スライド7までを見る。	○情報発信の内容によってはトラブルとなり得ることを認識する。
チェーンメールを受信した経験や対処 方法をワークシートに書く。 それをもとにグループで話し合う。 グループごとに発表する。	○ワークシートを配布する。 ○トラブルを避けるためにはどうすればよいかを話し合い、グループごとにまとめる。
教材「チェーンメールはカット」の 残りのスライド(まとめ・解説)を見る。 適切な対処方法を確認する。	○チェーンメールについて理解するとともに、場合によっては転送することが犯罪に手を貸すことになること等を知る。不安な場合は引き受けてくれるサイトがあることを伝える。
(25)	
情報発信により加害者となった掲示板 等の事例を紹介する。 ・脅迫容疑での高校生の逮捕 ・アニメのアップによる中学生の逮捕	○内容によっては逮捕されたり、損害賠償を請求されたりすることを知り、情報発信に必要な姿勢を理解する。 ○インターネットの匿名性について、説明する。(通信ログが残り、調べれば情報発信した端末が特定されること)
(10)	
シートによりふりかえりを行う。	○ふりかえりシートを配布する。 ○ふりかえりシートを回収し、それぞれの思いを共有する。
(15)	

校種	高校	学年	2年	教科等	ホームルーム	備考	
単元名	コミュニティサイトを通して考える情報安全						

2 2. 事例（または設定の理由）

コミュニティサイトについて

2 3. 本時のねらい

コミュニティサイトの活用について

2 4. 使用教材（準備）

ネット社会の歩き方 高校生 「ネット上のあぶない出会い」

4. 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1. ネット上にあるコミュニティサイトについて簡単に説明する。	○具体的なコミュニティサイトの紹介をする。
2. ネット社会の歩き方 高校生「ネット上のあぶない出会い」を視聴する。 (解説の前まで)	○事例の視聴は、解説の前で止める。
3. 5～6人のグループ（事前に班分け）別れ、事例について問題点・注意事項等を話し合う。	○問題点を話し合わせる。自由に意見を言わせ、出た意見を記入していく。（付箋等を利用すると効果的）
4. グループでコミュニティサイトの利用について話し合う。	○問題点から見えてくる、コミュニティサイト利用上の注意点について、自由に意見を言わせる。（上記と同じ方法で。付箋の色を変えるとよい。）
5. グループでの話し合いの内容を発表する。	○班別に問題点、注意すべきことについて発表させる。
6. 「ネット上のあぶない出会い」解説を見せる。	○解説を視させ、自分たちの考えとどうであるか比較させる。
7. 全体のまとめ	○事例以外のことについても触れ、コミュニティサイトの光と影についてまとめる。
8. 感想記入・提出	○感想を書かせる。

校種	高校	学年	1・2・3年	教科等	ホームルーム	備考	
単元名	コミュニティサイトを通して考える情報安全						

25. 本時のねらい

コミュニティサイトを題材に、「個人情報」「なりすまし」の2点に重点を置いてインターネットの安全な利用について考えさせる。コミュニティサイトを悪用する人の視点で、「どのように悪用できるか」と考えることで、逆に、狙われている可能性を常に意識して慎重に利用することが出来るようになることをねらいとする。

26. 使用教材（準備）

CEC「ネット社会の歩き方」(<http://www.cec.or.jp/net-walk/>)より、「書き込みはリアル?」「ネット上のあぶない出会い」、資料：「島根県内のトラブル事例」、ワークシート

3. 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1. コミュニティサイトとその機能について確認し、その利用に関連したトラブルが県内でも多く発生していることを知る。	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニティサイトがどのようなものか簡単に説明し、使用したことの有無などを聞く。 ○トラブル事例について、いくつか紹介する。 (資料・ワークシート配布)
2. 「書き込みはリアル?」「ネット上のあぶない出会い」を視聴し、それぞれの問題点についてワークシートに書き込む。	<ul style="list-style-type: none"> ○現実社会の犯罪に直結することを知る。 ○コミュニティサイトの利用にあたって、まず気をつけたいものとして「個人情報」「なりすまし」「いじめ」があげられることを指摘する。
3. 「個人情報」「なりすまし」の2点から、起こりうるトラブルを考えてワークシートに書く。	<ul style="list-style-type: none"> ○資料のトラブル事例のように具体的な状況を想定して書くように伝える。 ○コミュニティサイトを悪用する人の視点で考える。
4. グループをつくり、それぞれ考えた起こりうるトラブルとその対策について意見交換し、発表する。	<ul style="list-style-type: none"> ○発表意見をまとめるときは、以下の点も指摘する。 <ul style="list-style-type: none"> ・パスワードによる保護は完全でないこと。 ・インターネットに情報を公開するときは、世界中の人に公開されるだけでなく、時間も越えて公開されるのを意識すること。
5. インターネットにおける「仮想空間」や「匿名性」について誤解がないよう確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ○インターネット上でのトラブル(犯罪)の加害者は必ず特定され、誰も得をしないことを強調する。 <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットの向こうには実在の人がいるということ（無責任な発言や誹謗中傷をしない。悪意のある人に狙われている意識を常に持つ。） ・匿名のように見えても通信記録が残っており、警察などの要請で簡単に発信者が特定できる。
6. コミュニティサイトの安全な利用について考えをまとめ、ワークシートに書き込む。	<ul style="list-style-type: none"> ○情報安全のためには悪意のある人に狙われている可能性を常に意識することの大切さを確認する。 ○困ったときは、ひとりで抱え込まず周囲の信用できる人に相談するように伝える。(相談できないと思いつまらせるのが悪意ある人の作戦である。)

<資料> 島根県内 小・中・高等学校でのトラブル事例

- ・プロフに個人情報や写真を掲載していたら、自分の顔が別の人の体に合成された写真がミニメールで送られてきた。
- ・ブログや掲示板に実名をあげて誹謗中傷されていた。
- ・コミュニティサイトで仲良くなった相手（見知らぬ女性）から会いに来るとメールがあった。
- ・クラスの友達の個人情報一覧をプロフに載せていたら、アダルトサイトへリンクされていた。

<ワークシート>

1. 「書き込みはリアル?」「ネット上のあぶない出会い」を視聴して、それぞれ問題と思う点（コミュニティサイトを利用する上で注意すべき点）はどこですか？

「書き込みはリアル?」

「ネット上のあぶない出会い」

2. 「個人情報」または「なりすまし」に関係したコミュニティサイトで起こりうるトラブルには他にどのようなものが考えられるでしょうか。具体的な状況を想像して書いてください。

3. コミュニティサイトの安全な利用について自分なりのまとめと感想を書いてください。

() 年 () 組 () 番 氏名 ()